

二 米国加州ニ於ケル排日關係一件(四) 一四九 一五〇

スル為メ運動ヲ試ムヘシト称シ居ル趣
在米大使羅府ヘ電報セリ

一四九 四月二十日 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

排日漁獵法案ヲ本會議ニ引出サントスル決議
案否決セラレタル件

第一七〇号 (四月二十一日接受)

拙電第一六六号ニ関シ

排日漁業案ヲ委員会ノ手ヨリ本會議ニ引出サムトスル決議
案ハ四月十九日下院ニ於テ討議セラレタルカ我方ノ運動効
ヲ奏シ四八対一二ヲ以テ否決セラレタリ
在米大使並羅府ヘ電報セリ

四 人頭税法問題

一五〇 一月六日 在桑港太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

外国人頭税法案ニ関シ可然方法ニテ國務省及
州政府ノ注意喚起方ニ付幣原大使ニ依頼ノ件

一五一

第九号

本官発在米大使宛電報第八号
客年十二月拙電第三六〇号ニ関シ

一月六日「クロニクル」ノ「サクラメント」通信ニ依レバ
外国人頭税法案ハ目下州検事総長ノ手許ニテ起草中ナル
ガ其ノ徵稅方法及帝國人ノ条約上ノ權利ト衝突ナキ様制定
スル必要等ノ為州政府官吏ノ間ニ於テ種々討議セラレ随分
難事業ト認メラレ居ル趣ナリ將又右拙電ニ対シテハ未タ御
回訓ナキモ此際閣下ヨリ日米条約第一条トノ關係ニ付然ル
ヘキ方法ニテ國務省ノ注意ヲ喚起セラレ同省ノ自發的行動
ノ形ニテ更ニ州政府ノ注意ヲ喚起スル様出来得ルニ於テハ
至極妙ナルカ如ク考ヘラル何分ノ御配慮ヲ請フ
外務大臣ヘ電報シ「ロス・アンゼルス」ヘ郵送セリ

一五一 一月十四日 在桑港太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

人頭税問題ニ関シ外交上ノ手段ハ暫ク見合ス
ルヲ得策トスル旨幣原大使ノ回電轉電ノ件

第二五号 (一月十五日接受)
在米大使発本官宛電報第四号

一七四

(一月七日接受)

貴電第八号ニ関シ人頭税問題ハ独リ本邦人ニ關係アルノミ

ナラズ英仏伊諸國人ニ付テモ直接問題ヲ生ジ從ツテ之等諸
國ニ於テモ追テ何等カノ措置ニ出ヅベキカト思考セラルル
処我方ニ於テハ別ニ米国政府ト種々重要問題ヲ構ヘ居ル際
又々本問題ニ付米国政府ニ対シ直ニ外交手段ニ依リ抗議的
態度ニ出ヅルハ大局上不利益ト認メラルルニ付暫ク英仏等
ノ措置振ヲ注視スルコトトシ度又英仏等カ結局何等ノ措置
ニ出デザリシ場合ニ於テモ該税ノ賦課ハ其ノ名義及課稅方
法ノ如何ニ不拘条約違反トナルベキハ殆ンド疑ヲ容レザル
ヲ以テ全然現実ニ賦課セラルルニ至ツテモ尚試訴ノ方法ヲ
以テ法廷ノ救済ニ俟ツコトヲ得ヘキカ故ニ外交上ノ手段ハ
暫ク見合ヲ得策ト思考ス

外務大臣ヘ電報シ「ロス・アンゼルス」ヘ郵送アリタシ

一五二 三月十二日 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

外国人頭税ニ関スルボッグス案州会上院委
員會通過ノ件

第一〇七号 (三月十三日接受)

本官発在米大使宛電報第九号

二 米国加州ニ於ケル排日關係一件(四) 一五二 一五三

外国人頭税ニ関スル「ボッグス」案ハ八日加州会上院委
員會ヲ通過セルガ其際同案ガ現行日米条約ニ違反ス可シト
ノ説出デタル為メ結局同委員會ハ裁判所ノ判決ニ依リ人頭
稅徵收ノ違法ナルコト判明セル場合該人頭稅ヲ還付ス可キ
旨ノ修正条項作成方検事総長ニ依頼セル趣ナリ
外務大臣ヘ電報シ在「ロス・アンゼルス」領事ヘ郵送セリ

一五三 三月二十四日 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ボッグス外国人頭税法案ニ加ヘラレタル修
正条項ニ関シ報告ノ件

第一二二号 (三月二十五日接受)

本官発在米大使宛第一〇二号

拙電第一〇七号「ボッグス」外国人頭税法案ハ二十二日州
会上院ヲ通過セルガ同案中ニハ「条約上ノ規定ニ依リ日本
人又ハ其他ノ外国人ニ対シテハ人頭稅課徵ヲ免除スベキモ
ナルコトノ裁判所ノ判決アル場合ニ於テハ該外国人ニ対
シテハ既ニ徵收セル該稅ヲ還附スベシ」トノ意味ノ修正条
項加ヘラレ居ル由

外務大臣ヘ電報セリ「ロス・アンゼルス」ヘ郵送セリ

一七五

一五四 五月二十五日 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

人頭税ニ関スルボッグス法案ヲ知事承認ノ件

第二二七号

(五月二十六日接受)

拙電第一二二二号ニ関シ二十五日「サクラメント」発新聞電報ニヨレバ人頭税ニ関スル「ボッグス」案ハ同日知事ノ署名ヲ得タル趣ナリ

右在米大使へ電報シ在「ロス・アンゼルス」領事へ郵送セリ

一五五 六月二日 在ロス・アンゼルス大山領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

人頭税法ヲ日本人ニ適用スルヤ否ヤニ付州検

事総長ニ問合セタル件

第七六号

(六月三日接受)

本官発在米大使宛第三五六号
人頭税法ハ六月六日より実施スル筈ニ付本件ニ関シ州庁ノ態度ヲ確ムルタメ当地日本人会ヨリ州検事総長ニ対シ日米条約第一条第二項ノ規定ヲ摘録シ該法ヲ日本人ニ適用スルヤ否ヤ問合セタルモ未ダ回答ニ接セズ同総長ノ回答振リニ依リテハ法廷ノ問題ト為ス外致方ナキニ付其場合ニ当地日

会ヲシテ桑港在米日会ト共同ノ動作ヲ執ラシムルタメ矢田総領事ト協議中

右ニ付心得可キ儀アラバ御電訓アリタシ

外務大臣桑港へ転電セリ

一五六 六月二日 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ボッグス人頭税法ノ実施ニ依ル在留邦人ヘノ

影響ニ鑑ミ中央政府ノ注意喚起方幣原大使ニ

懇請セル件

第二三〇号

(六月三日接受)

本官発在米大使宛電報第一九〇号

大臣宛拙電第二二七号ニ関シ「ボッグス」法ハ即時実施セラレ同法ノ適用ヲ受クベキ一般外国人ハ本年七月末日迄ニ必要ノ登記ヲ為スヲ要シ納税期間ハ八月一日ヨリ開始スベキコトナリ居リ目下州内ニ在住シ同法ノ適用ヲ受クルト認メラルベキ日本人約五万アリ従ツテ年額約五十万弗ノ納税ヲ為スノ必要アルベク在留邦人ニ取り影響不尠在米日会等ニ於テモ焦慮シ居ルニ付中央政府ノ注意ヲ喚起スル等適當ノ御処置相願タシ尚中央政府ノ態度如何ニ依リテハ日本

人ヲシテ「テスト、ケース」ヲ提起セシムルモ一策ト存ゼラルルガ此点ニ付テモ何分ノ貴見御垂示相仰タシ

追テ英国総領事代理ノ云フ所ニ依レバ本件ハ既ニ華府同国大使ニ「リファア」シアルヲ以テ同大使ニ於テ何分ノ措置アル筈ナリトノ趣ナリ

外務大臣ニ電報シ「ロス・アンゼルス」へ郵送セリ

一五七 六月九日 在ロス・アンゼルス大山領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

南加中央日会ハ人頭税ニ関シ國務長官宛書面

ヲ以テ日本人ノ条約上ノ権利保護方ヲ請願セ

ル件

第七八号

(六月十日接受)

本官発在米大使宛電報第五八号

拙電第五六号ニ関シ南加中央日会ハ國務長官宛四日付書面ヲ以テ外人人頭税ニ関スル同官ノ注意ヲ喚起シ日米条約第一条第二項ノ条文ヲ引用シ日本人ノ条約上ノ権利保護方ニ関シ請願セリ該書面写郵送ス州検事総長ハ羅府日会ニ対シ未ダ回答セズ

大臣桑港へ電報ス

一五八 六月十一日 在ロス・アンゼルス大山領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

南加中央日会ハ訴訟委員ヲ設ケ人頭税法ノ差

止命令請求ノ訴ヲ起スコトヲ議決ノ件

第八〇号

(六月十四日接受)

在米大使宛第六〇号

拙電第五八号ニ関シ六月十日当地南加中央日会常置委員会ニ於テ訴訟委員ヲ設ケ「インジャンクシオン」ヲ起ス事ヲ議決セリ又桑港在米日会ト打合ヲ為ス管費用差当リ千五百弗ノ見込

外務大臣及在桑港総領事へ転電セリ

一五九 六月十七日 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

在米日会ハ人頭税法ニ対スル無効訴訟提起ニ

決シタルニ付其費用外務省ニ於テ支出詮議方

稟請ノ件

第二四六号

(六月十八日接受)

在米大使宛拙電第一九〇号ニ関シ在米日会ハ十五日参事員会ヲ開キ人頭税法ニ対シ条約違反ヲ理由トシテ無効訴訟ヲ

提起スルコトトシ直ニ右試訴ニ取り掛ルコトニ決議シタルガ弁護士報酬ノ外訴訟費用約二千弗ヲ要シ同会ニテ支出スルコト差当リ困難ナルヲ以テ外務省ニ於テ後援方申出デアリタル処若シ御異存ナクバ訴訟提起ヲ実行セシメ然ルベシト存ゼラルルニ付右二千弗本省ヨリ支出方御詮議相成度何分ノ儀至急御回電ヲ請フ

尚在米日会ハ其ノ顧問弁護士「エリオット」ノ意見モアルニ依リ南加中央日会ニ於テ試ミル訴訟(大山領事発在米大使宛第六〇号)ト相呼応シテ当地方裁判所ニ別個ノ訴訟ヲ提起スル考ナル趣

在米大使「ロス・アンゼルス」ヘ電報セリ

一六〇 六月十七日 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日本人ハ新人頭税法ニ依ル登録ヲ拒絶云々ノ

桑港タ刊ブレチン紙記事ニ対シ在米日本人会

ヨリ正誤ヲ求メタル件

第二四八号

(六月十八日接受)

六月十六日タ刊「ブレチン」ハ「Japs defy Tax law」ト題シ当市登録官吏ノ言フトコロニ依レバ当市ニ在住スル数百

ノ日本人ガ新人頭税法ニ依ル登録ヲ拒絶セル為同法施行上一頓挫ヲ惹起セルガ七月三十一日以後ニ至リ此等日本人ニ対スル「ホールセル、アレスト」行ハルベク目下幣原大使及「ヒュース」トノ間ニ協議中ノ日米問題ニ紛糾ヲ来タスベシ云々ト大袈裟ニ掲ゲ次ニ在米日本人会ハ昨日該税法ニ対スル同会ノ方針ヲ決定セルガ同会ハ南加日本人会ト協力シ日本人ニ対シ何等抗議スルコトナク登録ヲ為サムコトヲ勧告スルコトトシ尚同会ハ最近ノ機会ニ於テ同法ニ対シ訴訟ヲ提起スル筈ナル処日本人ハ總テ營利ノ団体ニ依リ支配セラルルヲ以テ結局右政策ニ同意スルコトナルベシ云々ト報道シ居レルニ付在米日会ヨリ為念登録官ニ対シ日本人側登録拒絶云々ノ事実アリヤ否ヤヲ問合セタル処右ハ主トシテ支那人側ニ於テ拒絶シ居レルコトヲ同紙ガ曲筆セルモノナルコトヲ発見シタルヲ以テ直ニ同会ヨリ同紙ニ対シ正誤ヲ求ムル意味ノ「ステートメント」ヲ送附スルコトトセル趣ナリ

在米大使ヘ電報シ「ロス・アンゼルス」ヘ郵送セリ

一六一 六月十九日 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

人頭税問題ニ関スルクロニクル紙社説大要報

告ノ件

第二五二号

(六月二十日接受)

本月十八日当地「クロニクル」ハ人頭税問題ニ関シ社説ヲ掲ゲテ曰ク歐洲人ハ急速ニ登録シツツアルニ拘ラズ独リ東洋人ハ在華府大使ノ訓令アル迄其ノ登録ヲ中止シ居ル処日本人ニ関シテハ日米条約第一条ノ規定アリ又支那人ニ付テハ条約上明示スル所ナシト雖モ最惠國條款ニ依リ日本人ニ免除セラルル場合支那人ニモ同様課税ヲ免除セラルルモノノ如ク歐洲諸國トノ条約ヲ一瞥スルニ課税免除ニ関スル右ト同様ノ規定明示シ居ラズ然シテ米國市民ハ加州ニ於テ人頭税ヲ課徴セラレザルヲ以テ条約ハ州法ニ優越ストノ合衆國憲法ノ規定ニ照ラシ日本人ハ(恐ラク支那人モ亦)本件税法ト戦フニ相当鞏固ナル理由ヲ有スルモノノ如シ云々在米大使ヘ電報シ在「ロス・アンゼルス」領事ヘ郵送セリ

一六二 六月二十一日 内田外務大臣ヨリ
在桑港矢田総領事宛(電報)

訴訟費用支出ニ異存ナキ旨並南加中央及在米

ノ兩日会ガ重複提訴ノ場合ハ一方ヲ見合せシ

二 米國加州ニ於ケル排日關係一件(四) 一六二 一六三

ムル様回訓ノ件

第六三号

貴電第二四六号ニ関シ人頭税法ニ対スル訴訟ノ為二千弗ヲ支出スルコトハ異存ナキモ本件ノ如キ比較的簡單ノ問題ニ付南加中央日会ト在米日会ト双方ニ於テ別々ニ訴訟ヲ提起スルハ如何ナル事情ニ依ルモノナリヤ若シ重複ニ渉ル義ナラハ一方ハ見合せシムル様致度シ
本電信在米大使及「ロス・アンゼルス」ヘ転電アレ

一六三 六月二十一日 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

人頭税問題ニ対スル各国領事ノ態度報告ノ件

第二五三号

(六月二十二日接受)

往電第二四六号ニ関シ

参考ノ為当地駐在各国領事ノ態度ヲ聞合セタル処英國領事ハ本邦ノ如ク特別ニ条約上ノ明文ナキヲ以テ在米大使及法律家ノ「アドヴァイス」ニ依リ法廷ニテ争フコトハ見合せ全然「ノンコンミットタル」ノ態度ヲ持シ外交上ノ交渉ヲ待チ居レルガ今日迄同國人ニテ未ダ登録シタルモノナキ模様ナリト又仏國領事ハ本邦同様条約上ノ明文アリ本官ノ態度

二 米國加州ニ於ケル排日關係一件(四) 一六四 一六五

ニ鑑ミ十九日管下仏國人ニ(桑港ノミニテ九千名アリト)署名差控方告示シタリト又白伊兩國領事ハ仏國同條約上ノ根拠アル由ニテ之又本官ノ態度ニ倣ヒ居リ伊國側ハ既ニ法廷ニ争フコトニ決シタル趣ナリ

在米大使ヘ電報シ「ロス・アンゼルス」ヘ郵送セリ

一六四 六月二十五日 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

在米日会ニ於テ人頭税無効訴訟ヲ実行スル場

合ニハ南加日会ハ同会ニ一任スベキ旨羅府ヨ

リ申越セルニ付訴訟費用支出方再請ノ件

第二五八号 (六月二十六日接受)

貴電第六三号ニ関シ本件問題ノ性質ハ簡單ナルモ当初「エリオット」ハ合衆國地方裁判所ニ起訴スルヲ可トシ從テ管轄区域ヲ異ニスル当地方及南加ノ双方ニ於テ起訴スベキモノト解シタルニ依ルトノ趣ニシテ其ノ後同人ノ研究ニ依レバ本件訴訟目的タル金額上ニ制限アリ商法上州裁判所ニ提起スルヲ要スベキモノナル事ヲ発見シタル由ナルガ故ニ州地方裁判所ニ提起スルトセバ同裁判所ハ州内ニ四十有余アリ或ハ苟モ日本人ノ居住スル地方ニ於テ一々起訴スル事ヲ

計リ難キ事情アル処此際右拙電稟申中央政府ヘ御申入レノ結果御電示相成ルヲ得バ甚ダ好都合ト存ズ
外務大臣及「ロス・アンゼルス」ヘ電報セリ

一六六 六月二十八日 内田外務大臣ヨリ
在桑港矢田總領事宛(電報)

人頭税問題訴訟費用支出承認ノ件

第六六号

貴電第二五八号ニ関シ費用支出ノ義ハ往電第六三号ノ通り承認ス

一六七 六月三十日 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

在米日会ハ人頭税問題ニ関シ訴訟提起ノ手配

ヲ定メタル件

第二六五号 (七月一日接受)

拙電第二五八号ニ関シ其ノ後在米日会ハ「エリオット」ト研究ノ結果七月三十一日即チ登録期限ノ滿了後法規違反ノ廉ニ依リ日本人ノ逮捕セラルルヲ俟チ Habeas Corpus ニ依リ直ニ州大審院ニ訴訟ヲ提起スル外適當ノ手段無キコトヲ確カメタルヲ以テ不取敢「アラメダ」郡ノ登録官吏警察

二 米國加州ニ於ケル排日關係一件(四) 一六六 一六七

一八〇

要スル虞アリ対米感情上甚ダ面白カラザル結果ヲ招致スベキニ依リ目下同人ニ於テ州検事總長ノ協力ニ依リ州大審院ニ訴訟ヲ繫属セシメ得ル様考究中ナリ尚本件訴訟ニシテ在米日会ニ於テ実行スルニ於テハ南加日会ハ一切ヲ在米日会ニ委カス意思アルニ依リ当地方ニ於テ提起スル事トセラレタキ旨在羅府領事ヨリ申越アリタルヲ以テ先ヅ貴電ノ通り当地方一手ニテ提起スル事ト致シ度ニ付拙電第二四八号ノ費用支出ノ点御許可相成度シ
大使及羅府ニ電報セリ

一六五 六月二十六日 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

人頭税問題ニ関シ中央政府ニ申入ノ結果回示

方幣原大使ニ稟請ノ件

第二五九号 (六月二十七日接受)

本官発在米大使宛第二一九号

往電第一九〇号ニ関シ訴訟提起ノ方法ニ付テハ大臣宛拙電第二五八号ノ通り目下講究中ニテ決定ノ上ハ直チニ起訴ノ手續ニ及ブベキ筈ナルガ訴訟進行ノ模様如何ニ依リテハ登記料又ハ納税期限迄裁判所ノ判決ヲ待ツコトヲ得ザルヤモ

吏ト妥協シ登録期限滿了ト共ニ直ニ同地日本人会幹事ヲ逮捕セシメ之ト同時ニ州大審院ニ訴訟提起ヲ為スコトニ手配ヲ定メタリ而シテ一般日本人ニ対シテハ適宜登録ヲ為サシメ期限間際ニ至リ何等混雜ヲ来サザル様在米日会ヨリ通告スル筈尚二十九日「ブルチン」ハ其ノ社説中ニ人頭税法ハ初メ日本人ヲ標的トシテ制定セラレタルモノナルガ日米条約ノ規定ニ照シ同法ガ少クトモ日本人ニ関スル限り憲法違反ナルコト既ニ疑ノ余地無キモノノ如シ云々ト述ヘ居レリ

一六八 八月二日 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

人頭税問題ニ関スル訴訟ハ予定通り提起セラ

レタル件

第二八五号 (八月三日接受)

拙電第二六五号ニ関シ予定ノ如ク登録期限滿了後八月一日「オークランド」警察署(交渉ノ都合ニ依リ「アラメダ」ヲ「オ」市ニ変更セリ)ハ人頭税法違反ノ廉ヲ以テ同地日本人会幹事寺井平吉ヲ逮捕シ保釈金納附ト共ニ一時保釈ヲ許シタルガ是ト同時ニ「エリオット」ハ寺井ノ弁護士トシテ州大審院ニ対シ人

一六八

一八一

身保護律ニ依ル保護ヲ請求シ同大審院ハ同日命令ヲ発シ九月六日(八月中ハ夏期休暇ナルニ依ル)本件審理ヲ開始スヘキコトトセリ訴状等郵送ス

尚「オークランド」及桑港ニ於ケル徵稅官吏ハ本法規定上納稅期ハ八月一日ヨリ開始スヘキモノナルガ右裁判判決確定迄ハ納稅ヲ為スニ及バザル旨發表シタル趣ナル処他ノ地方ニ於テモ恐ラク同様ノ取扱ヲ為スヘシト察セラル在米大使ニ電報シ羅府ヘ郵送セリ

一六九 八月二十二日 在ロス・アンゼルス大山領事ヨリ
内田外務大臣宛

ロス・アンゼルス郡ニ於ケル外国人登録者員
数ニ關スル件

公第二〇五号 (十月一日接受)

大正十年八月二十二日

在ロスアンゼルス

領事 大山 卯次郎(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

「ロスアンゼルス」郡ニ於ケル外国人登録者員数ニ關シ報告ノ件

曩ニ加州一般投票ニテ制定セラレタル外国人入頭稅法施行ノ結果過般來一般外国人ノ登録執行中ノ処右ハ去ル七月三十日ヲ以テ終了シタルガ今般「ロスアンゼルス」郡ニ於ケル外国人登録者ノ員数ニ關シ当局ノ發表スル所左ノ如シ

墨国人	一九、〇三三人
日本人	一〇、三七六八
伊太利人	三、四五四八
露西亜人	三、三九〇八
英国人	三、〇三〇八
加奈陀人	二、一八三八
奥国人	二、八五二八
独逸人	一、六一七八
スカンディナヴィア人	一、三九〇八
支那人	一、一四九八
希臘人	一、〇四五八
蘇格士蘭人	七三七八
愛蘭人	六一三八
其他	四、九八三八
計	五五、八五二八

一七一 九月七日 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

入頭稅訴訟弁護料支払費用電送方稟請ノ件

第三二二号 (九月八日接受)

往電第三二二号ニ關シ

訴訟終了ノ上ハ弁護料支払ノ要アルニ付貴電第六六号費用至急電送方御取計ヒヲ請フ

一七二 九月十三日 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

入頭稅法ハ日米條約ニ違反シ無効ナリトノ判決アリタル件

第三二五号 (九月十五日接受)

往電第三二二号ニ關シ

入頭稅問題ニ對スル判決文九月十二日我方弁護士ニ交附セラレタルガ右ニ依レハ入頭稅法ハ日米條約第一条ニ違反スルヲ以テ無効ナリト斯テ本件訴訟ハ予想ノ通り我方ノ勝訴ニ歸シタル次第ナリ(判文郵送ス)

大使及羅府ヘ電報セリ

二 米國加州ニ於ケル排日關係一件(四) 一七三

一八四

一七三 九月十五日 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

人頭税問題我方ノ勝訴ニ帰シタルニ付在米日
会ニテハ借地權禁止違憲ノ訴訟ヲモ檢討中ノ
旨並州大審院判決ニ対スル社説等報告ノ件

第三三〇号

(九月十八日接受)

拙電第三二五号ニ関シ

人頭税法ニ対シテハ寺井ノ事件ノ外墨國人「コッタ」ナル
者ヨリ憲法違反ノ訴訟州大審院ニ提起セラレ居リ寺井ノ事
件ト同時ニ判決下リ原告ノ勝訴ニ帰シタルガ右ハ日本人ヲ
含ム一切ノ黄黑人ニ対シ州ハ法律上同等ノ保護ヲ与ヘザル
ベカラズトノ憲法修正第十四条ニ照シ無効ナリト謂フニ在
ル処(判決文写郵送ス)同判決ハ加州大審院カ黄黑人殊ニ
黑人ニ対シ公正ノ態度ヲ持シ居ルコトヲ表明スルモノニシ
テ法律家ノ觀察ニ依レハ右判決理由ハ人頭税問題ノミナラ
ズ更ニ加州土地法中ノ借地權禁止規定ノ前頭憲法修正第十
四条ニ対スル合法性ノ問題研究上我ニ有利ナル材料ト成ル
ヘシトノ趣ニテ在米日会ニテハ拙電第三二四号收穫契約ノ
訴訟ト同時ニ借地權禁止違憲ノ訴訟ヲモ提起シ度キ意嚮ヲ

有シ居リ本官ハ同会ヲシテ顧問弁護士トモ慎重熟議ヲ重ネ
シムルコトトセリ尚本件ニ関シ十四日「クロニクル」ハ社
説ヲ掲ケ人頭税法ノ条約並ニ憲法修正第十四条ニ違反セル
コトハ敢テ大審院ノ判決ヲ俟ツ迄モ無ク明白ナリ云々ト述
ヘ同日夕刊「ブレチン」モ社説ニ於テ議會關係者ヲ除キテ
ハ何人モ大審院判決ニ対シ驚ク者無カルヘシ本法ノ日米条
約違反ナルコトハ条約ヲ一瞥セハ小兒ト雖モ了得スヘシ又
寧ロ州立法者カ憲法第十四条修正ヲ無視セルコトモ何等駭
クニ足ラズ要スルニ本訴ノ經驗ハ州会ニ対シ日本人ニ対ス
ル適當ノ方法ハ合法ノ手段ヲ以テ入国ヲ拒絶スルニ在リテ
既ニ米国内ニ地歩ヲ占ムル者ニ対スル差別的課税ヲ以テ為
スヘキ者ニ非ズトノ好教訓ヲ与フルナルヘシ云々ト論セリ
大使ヘ電報シ「ロス・アンゼルス」ヘ郵送セリ

事項三 加州排日問題解決ノ為ノ幣原及モリス兩大使間非公式協

議關係一件

一七四 一月八日 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報)

入国時ノ差別待遇ハ讓歩スルモ入国後ノ待遇
ハ飽迄無差別ヲ主張シ度ニ付モリス大使ノ再
考ヲ促シ妥結ノ方法ヲ講ゼラレ度旨訓令ノ件

第六号

貴電第六四七号ニ関シ

旅券面ニ渡航目的ヲ記載シ之ニ違反セリト認メラルル渡航
者ヲ入国ノ際拒絶シ得ル事トナスハ当方ノ甚タ苦痛トスル
所ナリシモ大局ニ鑑ミ枉テ之ヲ承認シタルモノニシテ此点
ニ付テハ差別待遇ニ甘ンシタル次第ナルモ右渡航目的記載
ヲ承認シタル事実ヲ以テ更ニ入国後ニ於ケル差別待遇ヲモ
当然認容シタルモノナリトノ貴見ノ次第ハ当方ノ同意シ兼
ヌル所ナリ若シ貴見ノ如ク論旨一貫ヲ期スルニ於テハ入国
ノ際ノ差別待遇ヲモ排除シタキ次第ナルモ米國側ニ対スル
讓歩トシテ右ノ半面ハ之ヲ忍ヒ他ノ半面タル入国後ニ於ケ

ル待遇ニ対シ飽迄無差別ヲ主張シタキ義ナルニ付篤ト御了
承相成様致シタシ

本件ニ付当方ニ於テ此ノ如ク力説セザルヲ得ザルハ単ニ主
義ノ問題トシテ差別的待遇カ好マシカラザルニ依ルノミナ
ラズ之ニヨリテ米國カ得ヘキ実益ハ我方ノ犠牲ト伴ハズト
思考スルヲ以テナリ右ハ屢次ノ電報ニヨリ申進置キタルモ
之ヲ補足細説セバ

一、在米日本人ノ増加ハ曩ニ貴電第六〇三号ニ見エタル貴
見ノ通り紳士協約制度ノ欠陥ニ依ルニ非ズシテ一方移民
渡航禁止ニ対スル例外的規定ノ範圍広汎ナリシト他方密
入国者ノ多カリシ結果ニシテ從テ今回ノ解決案ニ依リ我
ニ於テ右例外的規定ヲ著シク緊縮シ米國側ニ於テ移民法
違反者追放期間ノ延長及貴電第六五七号ニ記載セラレタ
ル入国資格立証方法ノ改正等ヲ実行スルニ於テハ将来事
態大ニ改善セラレ在米日本人ノ増加ハ茲ニ一段落ヲ告ケ